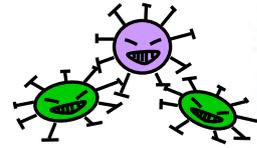
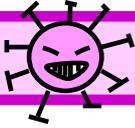


感染症に気をつけよう!

2018年【6月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
A型肝炎*	★ 散发	➡ 横ばい	ウイルスに汚染された食品等から感染しますが、性的接触による報告が多い状態です。【'14.4号】
咽頭結膜熱** (プール熱)	★ やや流行	➡ 増加	例年、7月頃にピークがあり、保育園や学校での集団発生も報告されます。【'17.6号】【チラシ】
伝染性紅斑** (リンゴ病)	★ やや流行	➡ 増加	昨年 <small>の</small> 11月中頃から増加の傾向になり、いつもの年より多い状態が続いています。【'14.6号】
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎*	★ やや流行	➡ 増加	2017年からこれまで、例年に比べて、報告数が多いまま推移しています。【'18.4号】

今、気をつけたい感染症 咽頭結膜熱(プール熱)



どんな病気?

- アデノウイルスが原因です。主な症状は発熱・のどの痛み・結膜炎で、3~5日間ほど続きます。
- 免疫機能の弱い人・乳幼児・高齢者などでは、重症になる場合*もあります。

感染のしかたは?

- 患者の鼻水・だ液・便等にいるウイルスが、通常、飛沫感染あるいは手指を介した接触感染*でうつります。
- プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱とも呼ばれます。

予防には?

- 手洗い・うがいが大切です。タオルは一人ずつ別にしてください。プールから上がった時はシャワーを浴びて、うがいをしましょう。
- 学校は、主な症状が消えた後2日間が過ぎるまで**、出席停止とされています。



【参考ホームページ】

*: 国立感染症研究所

：厚生労働省 *：文部科学省

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 【横浜市感染症情報センター】